

第6期（平成30～31年度）第2回日進市自治推進委員会 議事録

日 時 平成30年12月14日（金） 午前10時から午後0時10分まで  
 場 所 日進市役所本庁舎4階第1会議室  
 出 席 者 昇秀樹（会長）、杉山知子（副会長）、谷口功、野村誠治、長谷川純、鈴木知代子、  
 杉浦義廣、山本康弘、財部剛  
 欠 席 者 清水香子  
 事 務 局 萩野敬明（企画部長）、辻武（企画部調整監）、水野隆史（企画政策課長）、  
 川合陸仁（企画政策課課長補佐）、河合一成（企画政策課市政戦略係長）、  
 松井啓子（企画政策課市政戦略係主査）

説明の為に

出席した者 岡部功（市民協働課長）、横地英和（市民協働課主幹）

傍聴の可否 可

傍聴の有無 なし

次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自治基本条例第27条第2項に規定する条例の遵守の検証について

(2) 市民参加及び市民自治活動条例第27条の規定に基づく協議及び定期的な評価  
 について

4 その他

第6次総合計画策定の進捗状況について

5 閉会

配布資料

- ・資料1-1 自治基本条例検証シート（案）
- ・資料1-2 日進市自治基本条例 条文検証対象課一覧
- ・資料2-1 平成28年3月15日付け 市民参加及び市民自治活動条例第27条の規定に基づく定期的な評価について（答申）
- ・資料2-2 平成28年4月1日付け 市民参加手続の運用の一部変更について（通知）
- ・資料2-3 市民自治活動の支援及び協働の推進に必要な事項の評価（案）
- ・資料3 第6次日進市総合計画の策定体制について
- ・当日資料1 日進市自治基本条例検証シート記載例
- ・当日資料2 第5回日進市道の駅整備検討委員会資料

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
会 長	それでは、議題（1）自治基本条例第27条第2項に規定する条例の遵守の検証について、事務局から説明をお願いします。

発 言 者	内 容
事 務 局	(資料1-1、1-2、当日資料1に沿って説明)
会 長	<p>こういった方法で検証をするのは初めてということで、市執行部の職員の意識啓発という意味でも興味深いと思います。今の説明について意見や質問はありますか。</p>
委 員	<p>職員の仕事が増えると思いながら、いま言われたように職員が条例を学ぶ機会になるのはよいと思います。先ほどの説明の中で、教育関係や福祉関係の部署は全ての施策に関わるため、事務局と会長との事前相談において対象外と判断したということでした。私もこの資料を見て一番初めに気になったところでした。本当は全部書いてほしいのですが、しかし、ここはというところは加えるべきではないかと思います。市民協働課と並んでいるようなところは入れたほうがよいと思います。第2章の「自治の基本原則」や第3章「個人の尊厳」、第5章「参加と協働」というところですね。</p> <p>特に「市民自治活動」にあっては、社会福祉協議会は協議会として民間の自治の組織であり、行政の下請け組織ではありませんので、市民自治活動の推進は行政自身の役割であるという意識を確認する意味でも、福祉関係の部署が入ったほうがよいと思います。いま社会福祉の改変の中で地域福祉がいろいろな部門に関して上位に位置づけられる中で、きちんと住民の自治と尊厳を意識する、確認するという意味でもそのほうがよいと思います。まずこれが福祉関係のことです。</p> <p>もう一つは、これも限定的なことだと思いますが、「参加と協働」のところに生涯学習課を入れるべきではないかと思います。日進市の公民館は社会教育法が意図している公民館とは違う現状もありますが、社会教育の場である公民館を一部所管し、生涯学習を担当している課として入れたいです。そして何よりも、日進市の特徴として家庭教育推進委員会があるということです。最も学区をベースとした住民の自治組織ではないかと思います。やはり日進市の今後の地域事情を考えると、果たして行政区制度や自治会の制度は十分に自治の担い手になりうるのか、ということも踏まえる必要があります。そう考えると、小学校区をベースに活動している市民団体を所管する生涯学習課を、「参加と協働」の「市民自治活動」というところに入れたらいいのではないかと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。福祉と教育を全部対象外とするのはいかがなものかというご意見でしたが、どうでしょうか。</p>
事 務 局	<p>福祉関係の部署ですが、たとえば本市では地域福祉課が地域づくりをしていますので、市民協働課が書いてあるところにはそういう課を追加してはどうかというご意見でしょうか。</p>
委 員	<p>そのとおりです。生涯学習課についてもそれでいいと思いますが、どちらかというとなら第5章の「参加と協働」といったようなところで、地域福祉課よりは少なくなるとは思いますが、加えてもらえるとよいと思います。</p>
事 務 局	<p>地域福祉課に生涯学習課も加えるということですね。確かに地域福祉課と生涯学習課は共通する業務がありますので、ご提案に沿うようにしたいと思います。</p>

発 言 者	内 容
会 長	分量も睨みながら、ただ一方で、自治基本条例が現場の中でどのように活かされているのか、いないのか、わかった方がいいとは私も思いますね。全部やってしまうと分量や労働強化の話になるかもしれませんので、特に関係の深い条文について、具体例として、教育や福祉の現場で自治基本条例の精神、場合によっては条文そのものが活かされているのかいないのか、そういう検証があったほうが市民にとってもわかりやすくなると思います。企画政策課レベルで書くとやや抽象的になりがちですから、具体的な事業課のところはどういうふうにされているのかというのが少しあったほうが自治基本条例の意味も伝わるとと思いますので、何らかの形で盛り込むような努力をお願いします。
事 務 局	生涯学習課に関しては、家庭教育推進委員会というのは日進市の一つの特徴でありますので、限定はしませんがそういったものを中心として検証するという形でよろしいでしょうか。
委 員	はい。
会 長	ありがとうございます。他にご意見はありますか。
委 員	初歩的な質問ですが、検証シートの課題の出し方の考え方をお伺いしたいと思います。質問の背景としまして、私も自分の会社で年度方針点検を書くのですが、やったことばかりを書くと言われていました。やったことを書くのではなく、自分達はどこを目指し、何が足りなかったのか、それを書くべきという意味です。それには二つ視点があって、やるべきことがやれなかった点と、チャレンジしたが到達できなかったこと、そういう大きな二つの視点で課題を出します。今回、企画政策課で課題を出すときの考え方や、他市町の事例を見て「こういう形で課題を出しなさい」というようなお考えがあるのでしょうか。まずは課題を出すところで、どういうふうにやっていくのかお聞きしたいです。
委 員	私も同じような意見ですが、やればいいのかではなく取捨選択というのがあります。要するに、ある大きな目標でこれをやって、こちらの小さいことはやらなくてもいい、ということもあっていいのではないのでしょうか。全部やったことばかりに目が行くと、目標を失って、細かいところだけつってしまうのではないかというイメージが湧きました。ですから目標を見失わないような書き方をされた方がいいと思います。さきほどの教育の、生涯学習課についての意見には賛成です。
会 長	いまのお二人の意見に関していかがでしょうか。
事 務 局	ご意見ありがとうございます。課題として記載させていただきましたが、いまおっしゃった課題への考え方というのはございません。企画政策課として、これが足りないのではないかと、やれていないのではという、漠然としたものかもしれません。 現状の中でやりきれないものを記載しておりますので、いまのご意見を参考にして、各課で作成をするときにはそのような視点を入れられるように考えていきます。

発 言 者	内 容
委 員	そういう意味では、理念といいますか、こういうことをやりたいということを明確にしておかないと、ウェイト付けがうまくいかないと思います。
会 長	検証シートの4番のタイトルが「課題」となっていますが、「目標と課題」とすると少しは目標が見えてきますね。
事 務 局	<p>課題の設定については、自治基本条例の検証に基づかなくとも、毎年事務事業評価、行政評価で、各部局の担当が所管の施策についてそれぞれ考えています。その事業はどういう目的があるのか、それを考えた上で、どういうことができたのか、どこが足りなかったのか、どういう改善がしたいのかを考えて評価しています。</p> <p>今回のこの検証につきましては、自治基本条例の中で行政に対して「こういうことをしてください」という縛りがありますので、目的というのはまさにそれを守ることだと捉えました。それをきっちり守っているとしても、みなさまから市政についていろいろな意見をいただくために、「守り方として、こういういろいろな事業をしています」ということもこのシートに書き込むのがいいのか、迷っているところもあります。書き出せば記載例の20条も本当に幅広く書かねばなりませんので、先ほどのお話にもありましたが、企画政策課として総括的に書いております。目的は条例に書かれていることを守ることで、その上で、どのように守っていますかという点については、自治推進委員会でわかりやすく議論いただきたいと思い、ある程度絞った形で資料を作りました。どこまで広げればみなさまが議論しやすく、より意見がいただけるのかということも含めて、各部局に作成依頼するときに検討させていただきたいと思います。</p>
会 長	構成として、2に現状、3に主な取組がありますから、現状とこれまでのことは書いてあります。4の課題は、まさにそれでは足りない、あるいはこういうことがあればもっといいというのを書いていただくスペースなのですね。
事 務 局	はい。自治基本条例を作っている市町村が全国に300～400くらいしかないのですが、自治基本条例に基づく市政が行われているかを検証しなさいと謳ってあり、かつ、その検証を行った自治体が、私どもの調べでは県内で2つしかありませんでした。その2自治体に電話等でお伺いした中で、一番わかりやすくお示しできるのではないかと構成が、今回の資料です。
会 長	ご指摘いただいた意見を踏まえて進めるようお願いいたします。
事 務 局	ご指摘いただいた点については、私どもも課題として考えていた部分もありましたので、ご意見に沿った形でもう少し精査したいと思います。
委 員	基本的にシートはこれでいいと思いますが、いま会長も仰ったように、課題欄にできなかったことと、なぜできなかったのかを行政の中できちんと整理すべきだと思います。それは自分達の力不足だったのかという一方で、実現のための制度が無かったからできなかったということもあり得ると思います。要は自分たちが動ける根拠が無かったと。ちょうど自治基本条例に基づく総合計画が書き換えの時期ですが、各部署は総合計画に記されていることに基づいて事業を展開し

発 言 者	内 容
	<p>ているはずで。ですので、今回の書き換え、新しく策定するタイミングの中で、こういう制度があれば自分達はこれができるかもしれないということを各部署から挙げられるような形で「今後の方向性」に記していただくと、それにより総合計画が次の自治にもっと反映されるものと思います。できなかったことを責めるということではなく、できなかった理由について、マンパワーやコストもあるかもしれませんが、こういった制度があればもっとできたかもしれないものに関しては、きちんと各課が次の総合計画に反映するような提案をしていただければと思います。</p>
事 務 局	<p>自治基本条例第20条に基づいて総合計画を定めていますが、いま仰いましたように、ちょうど第5次総合計画の検証作業を全庁的に始めております。検証シートを作成を各課に依頼しておりまして、その中で、できていないことをしっかり洗い出してくださいとお願いしているところです。いただいたご意見についても、各部会で話し合う機会が今後複数回ありますので、その視点を加味しながら一生懸命考えていきたいと思っております。</p>
副 会 長	<p>私からすると、「課題」と「今後の方向性」という言葉そのものが同義語の印象があります。たとえば4はどちらかという反省点と言いますか、これができなかった、力が足りなかったというのを確認する場にします。どこの組織も同じでなかなか自己否定はしづらいですが、これが問題だ、このままでいいのかということをもろあぶり出す項目にするということです。そして、だから今後こういうふうにしていきますということで、4と5を一緒にするというのはいかがでしょう。4と5は、私には同じような意味合いに受け取れる言葉という印象を持ちました。</p>
会 長	<p>言われてみればそうかもしれませんね。どういうふうに分けるのがよいでしょうか。たとえば、2を「現状と問題点」にして、課題を2に書いてしまう方法もありえますね。</p>
副 会 長	<p>あるいは、1はそのままにして、「これまでこんなことをやってきました」という3を2に持ってきて、2を「これまでの取組」の次にして「現状と問題点」を示し、そして「今後の課題」がくるというのはいかがでしょう。課題と方向性といったときに、来年できることもあれば、あることを長期的にやっていくためにはどこかと連携しなければならないが、制度がないため難しく、そのために時間がかかるというのは方向性になってくるでしょう。断言できるものはそう書いていただければいいと思います。</p>
事 務 局	<p>ご指摘のとおり4と5がわかりにくいのではという点の一つあります。私どもが記載例に書いた意図としては、4は問題と思っているところをハッキリ書いたほうが良いと考えました。その上で、5はその問題をどう改善したいかを「方向性」という書き方で、分けて書いたほうがわかりやすいと考えて記載いたしました。ご意見のように現状と課題を一緒に書くというのも、他市では事例がございましたが、欄を分けて作ったほうがそのことに対してより重点的に考えてしっか</p>

発 言 者	内 容
	り書いてもらえるのではという思いがあったので、分けて書きました。
会 長	いまの趣旨ですと、「課題」のところにたとえばカッコで「問題点」と入れるといいと思います。課題というと今後の方向性と重なるところがありますので、ここはむしろ問題点を書き表していただくところだと示すほうが、誤解が少ないのではないのでしょうか。それであれば、問題点というのを踏まえて、今後の方向性も書けると思います。
事 務 局	いただいた意見を参考に、こういうことを書いてほしいというのを担当課にお知らせして、シートを作成してもらおうようにしたいと思います。
委 員	見やすさという点ではいま副会長からお話があった書き方のほうが見やすいと思います。今回の資料では見えても追えない、サッと見られないと感じますので、「現状と問題点」と「これからどうなるのか」の二つをしっかりと見るというほうがわかりやすいと私は思います。照会後にたくさんのシートを見ていくことを考えると、論点がある程度わかりやすいほうがいいと思います。
会 長	そういうことも含めて総合的に判断をお願いしたいと思います。それぞれの立場でそれぞれの意見がありますから、どれが唯一正しくてどれが間違っているというタイプの議論ではありませんので。
委 員	記載例を読んでもやったことばかりの記載で頭に入りにくいです。条例ですから全部が全部できないとは思いますが、何か数値があったり、こういうアンケートを何回取ったとか、ちょっと数値が上がって住民の意見が改善したとか、時折数値があったりすると読みやすい気がしました。
事 務 局	仰るとおり市政への満足度が上がっていると書きましたが、どれだけかが書いてあったほうがわかりやすいというご意見ですね。
会 長	新旧のメリハリがつく形で書いてあるとわかりやすいということですが、それができるところとできないところがありそうですね。
事 務 局	なかなか難しい点もありますが、工夫してできる範囲でやりたいと思います。
会 長	できる範囲でよいのでお願いします。
会 長	それでは、議題（２）市民参加及び市民自治活動条例第２７条の規定に基づく協議及び定期的な評価について、説明をお願いします。
市 民 協 働 課	（資料２－１、資料２－２、資料２－３に沿って説明）
会 長	以前の委員会では、自治基本条例について、こういうことが今後さらに求められるものではないかという答申をしまして、それについて二つの宿題をお願いしました。それに対してお答えをいただいたということで、けっこう頑張っていたという印象ですが、質問やご意見はございますか。
委 員	議題１で、追加で地域福祉課と生涯学習課もという話をしましたが、議題２に関しても、このような指標を計る際にも住民自治組織の指標を入れるべきではないかと思います。 具体的に言うなら、たとえばテーマ型コミュニティのところでは社会福祉協議会が管轄するボランティア連絡協議会があると思います。そこでどういった活動

発 言 者	内 容
	<p>がなされているのかといったこともきちんと数値を取ろうと思えば取れるはずですので、行うべきだと思います。また、地縁型コミュニティですが、この中にもメンバーがおられますので、福祉まちづくり協議会がどんな活動をしているのかもきちんと地縁型組織の活動として評価すべきではないかと思います。さらに、先ほど言いました家庭教育推進委員会が具体的にどのようなことをやっているのかということまで把握してもいいのではないかと思います。</p> <p>それぞれの組織にしてみれば、任意でやっているので評価してほしくないということもあるかもしれませんが、行政としては把握しておくべきでないかと思います。</p> <p>そして、そういった住民のコミュニティづくりについてはほっとカフェや場リスタなどがつどいの場づくりをしていると思います。これについてもどのように増えてきているのか、どういう参加者がいるのかということ把握していただきたいです。現在は区や自治会というものが住民自治の担い手や市民のコミュニティですが、しかしそこを越えるような仕組みを作っていかななくてはいけないのが日進市の特徴だと思っています。市民協働課が従来管轄している組織だけではないところにも目を向ける指標を、作っていただきたいと思います。</p>
市民協働課	<p>活動について多岐に渡っているものが当然ございますので、担当課と調整しましてできるだけ加える方向で考えてみたいと思います。</p>
会 長	<p>いろいろなところいろいろなNPOなり地縁型組織なりがあると思いますので、網羅的には無理かと思いますが、気のつく範囲でどういう形になっているのかをやっていただきたいと思います。</p>
市民協働課	<p>全ては難しいかもしれませんが、できる範囲で取りまさせていただきます。</p>
会 長	<p>あと細かい話ですが、資料2-3の2枚目で、言葉だけの問題ですが、「基本指標（定量的指標）と組み合わせる定性的指標」とありますが、ハッキリと率で出ていますのでソフト指標という言い方はいかがでしょうか。定性的指標というのは定量的指標に対するもので、数値が測定できないものを言います。いい言葉がすぐ思いつきませんが、とりあえず代替案としてソフト指標というような言い方でいかがでしょうか。定性的指標ではないと思いますので、より妥当な言葉にさせていただくとよいと思います。</p>
委 員	<p>先ほど全ての組織を把握するのは難しいと言われましたが、日進市の規模なら全部できます。現に市民協働課はきちんとボランティア連絡協議会の団体数やNPO、市民団体の数をちゃんと把握しておられます。市民協働課所管のにぎわい交流館で、どんな団体がいてどういうネットワークがあるかというのを作ろうとされていますので、私は全部対象とすべきでないかと思います。</p>
会 長	<p>可能な限りお願いします。</p>
市民協働課	<p>努力させていただきます。</p>
委 員	<p>コメント的な話ですが、2-3の資料の2枚目の下側のところですが、市民がボランティアに参加した、あるいは、ボランティアにスタッフとして参加した、</p>

発 言 者	内 容
	<p>というのはとてもよい区分けだと思います。もし今後もっと使い込まれるのであれば、初めて参加したかとか、年齢、子どもが参加したか、そういうことを検討してほしいと思います。背景としては、私も市民団体をやっていますが、自分がやっていることがまちのためにどれくらい寄与しているのか常々疑問に思っているところがあります。自己満足ではないだろうか。新しい方が増えていってまちづくりに加わる、そういう世界になったらいいと個人的に思っていますので、そこで新規性や、子どもが若いうちからたくさん関わるような指標について、ゆくゆくでかまいませんのでご検討をお願いしたいと思います。</p>
会 長	<p>そういう視点を持ちつつ、ということですね。</p>
市 民 協 働 課	<p>検討してまたご報告したいと思います。</p>
会 長	<p>実状を知る上ではすごく大切な視点だと思います。初めてか、子供かなどで、団体の性格が変わると思いますので。なかなか定量化するのは難しい面もあるかもしれませんが、そういう視点を持って調査していただくと気がきく場合があるといえますか、そういう視点があるのとないのとではひっかかる部分が違ってくると思います。具体的な方法は思いつきませんが検討していただければと思います。</p>
副 会 長	<p>また日本語の質問なのですが、「基本指標」というのは普通使われている言葉なのでしょうか。指標というとこれこそまさに基準といえますか、変わらないものというイメージがあって、ただこれを見ると団体数とか来館者数とかいうものは当然変わっていくので、そういうときに基本指標という言葉が定着しているのであればいいのですが。</p>
会 長	<p>必ずしも定着はしていませんね。</p>
副 会 長	<p>別の言葉を使ったほうがすっきりすると思います。何がいいかと言われると思いつきませんが、少し違和感があります。</p>
事 務 局	<p>各計画で指標を設定してしまして、その言葉と合わせたものです。いろいろな計画に指標が載っていますので、そこでどんな言葉が使われているか確認しまして、他の計画と言葉を合わせるなり、必要なら変更するなりさせていただきます。この「基本指標」という言葉が市で使われているものであればこのままいくかかもしれませんが、確認をさせていただきます。</p>
会 長	<p>資料2-3の表1が基本指標で、表2が基本指標でないということですが、表1と表2で何が違うのでしょうか。</p>
副 会 長	<p>表2にも定量的指標がありますよね。</p>
会 長	<p>もしかしたら表1と表2を区別する必要がないのかもしれないですね。表1がメインで、表2がサブという感覚でしょうか。</p>
市 民 協 働 課	<p>これを見ますと、数字と率で分けているものが多く、相関関係が生まれやすいものでありますので、分ける必要はないのではというご指摘にはそうかなという部分もあります。表2ですと、たとえば参加した市民の割合とありますので、表1に足しこんでも支障はないかもしれません。</p>

発 言 者	内 容
会 長	表1に全部入れると項目が多くなりますので、表1全体の中で何か性格分けをすることはありえますが、いまのままでは表1と表2を分ける理由が不明確なようです。
副 会 長	表2も表1にくっつけて、このような数字には出てこないものを表2の定性的指標にするのが大切です。たとえば、ボランティアの参加率はとても高いけれど、いつも決まった人で広がりがなくとか、そういった数字だけ見るとすばらしいけど実はこんな問題を抱えているというものを、分析の中に入れる必要があると思います。
会 長	それはまさに定性的指標ですが、その定性的指標というのが項目として出せるのかというのが課題ですね。当面は表1に合併してはいかがでしょうか。
市 民 協 働 課	見やすい方法を考えたいと思います。
会 長	定量的な指標だけではなくて、定性的な指標も併せて考えていくといいかと思えます。今後、定性的な指標としていま言われたようなことをいくつか文字として順次追加していく。ただ、もともと定性的指標というのは数値にならないものですが、それはそれで心に留めておくということで。
市 民 協 働 課	そのように考えていきます。
会 長	他に意見はありますか。
	(意見なし)
	4 その他
会 長	それでは、その他の第6次総合計画策定の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料3に沿って説明)
会 長	市民参加を条例に沿った形で行い、総合計画を策定していくということでした。質問、意見はありますか。
	(意見なし)
会 長	では、私から一つ。策定市民ワーキンググループに37名いらっしゃるということでしたね。その中から総合計画審議会に市民委員として2名参加しますよね。どのように2名の方は選ばれたのでしょうか。
事 務 局	第1回の策定市民ワーキンググループで選ばせていただきましたが、男性から1名、女性から1名ということで、立候補をお願いしました。
会 長	では、市役所、事務局がこの人とこの人と選んだのではなくて、ワーキンググループに参加された37名の方から男性女性一人ずつ選ばれたということですね。
委 員	総合計画はやる根拠にもなるし、一方ではやらない根拠にもなりうるので、漏れが無いようにお願いします。市民が参加するというのは当然ですが、厳しいことを言いますと、市民は言いたいことを言って偏りが出てくることもあります。市民の声が大きければ大きいほど収拾がつかなくなることがありますので、行政

発 言 者	内 容
	<p>組織としてどういう自治体経営をしていきたいのかを再度チェックする場といえますか、今後10年どういう自治体経営をしていきたいのかを示せる場はあったほうがいいと思います。</p> <p>当然首長の意思というものがあると思いますが、行政組織、行政職員達がどんな日進市をつかっていきたいのか、そういう意味では資料3の2(3)⑤の「市民協働・行政経営」というのは、市民がもっともわかりにくい箇所です。行政組織の横串をどう刺すのか、行政連携、庁内体制の仕組みづくりというのはなかなか市民から声が出ませんので、ぜひ庁内体制の中で、若手職員から声が上がってくるとういと思います。できあがっていくプロセスでチェックする場がこの委員会でもあるかと思えますけれど。</p>
会 長	<p>プロの方もおられますが、比較多数はアマチュアの市民とプロの行政職員の組み合わせです。当然アマチュアの市民は漏れが多いですが、「市民がこう言ったから」とそれで済ませては話になりません。プロとして行政の目できちんと全体を見て、漏れのないようにしていただきたいです。</p>
事 務 局	<p>総合計画の策定では庁内検討組織でしっかりと議論して漏れのないようにしたいと思います。</p>
委 員	<p>策定市民ワーキンググループには、他の職員の方がメンバーとして関わるということはないのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>メンバーとしての参加はありません。第5次総合計画の検証においても、策定市民ワーキンググループにおいて議題としてあげる予定ですが、その際に説明員としてワークショップの中に入っていくというのはいえませんが。</p>
委 員	<p>私は日進市民ですが、長久手市内に勤務してまして、いま長久手市でもいろいろやっていますが、職員の方が一緒に入ると非常にいいです。強制参加はまずいと思いますが、日進市職員で、若手でこういうことに興味のある方、特にこういうことに関わりがない職員の方に出ていただけるといいかなと思います。</p>
会 長	<p>長久手市の活動では市民のグループの中に若手の職員が入るということですか。</p>
委 員	<p>一緒に何かいろいろ考えていく感じですね。そういうワークショップがあると、役所の方もいらっしゃって、いろいろな部署の方がお仕事でなく自主的に、自主的かわからない部分もありますが、かなり一緒にやっている部分があります。しかし日進市はそこがあまりありません。いろいろなことを考える上での一つの場であると思うのですが。</p>
会 長	<p>行政の仕組みが市民にはわかりにくいので、担当部局でない職員が入ることによって議論が具体化しますね。その一方で行政職員がつかったりすることもあります。</p>
委 員	<p>そういう職員がいらっしゃると、たとえば水道局とか自分が知らない部署のことで、「あれが大変なんです」という話を聞けばすごく身近に感じます。もっと市の関心事に関わりやすいというか、総合計画でなくてもそんなワークショップが</p>

発 言 者	内 容
	あるといいなと常に思っています。
会 長	市民は行政の仕組みがわからないから、抽象的だったり、県や国の仕事のことを市に言ったりとか、そういうことがままあります。そのなかに一人でも行政職員がいれば、それは県の仕事ですという説明ができるので、議論の質が上がります。行政がわかる人がちょっといれば、そういうことはあります。ただ、そこに行政職員をどうやって入れるかはなかなか難しい問題ですね。
事 務 局	ご意見はよくわかりますし、議論の具体化というのもできる部分もあります。ただ、固いかもしれませんが、日進市は、ワークショップはできるだけ職員が入らずにというスタンスでずっとやってきています。
委 員	いまのやり方が悪いわけではないと思います。私は第5次の総合計画のときに参加しまして、役所の人と議論を交わしたということがあまりなかったもので、これに限らずそういう機会があるといいと思います。私自身はいろいろなところで機会があるのですが、37名の中ですごく関心があつてすごくやってくれる人はいると思います。そういう人と接点ができるといいですね。
事 務 局	第5次の策定ときは、職員の策定組織と、市民のワーキンググループのような組織とで、合同で1、2回会議を行いました。いまのところ説明で申し上げたように予定がたくさんで、第6次でどうなるかはわかりませんが、検討したいと思います。
委 員	オフ会のような、「せっかくこういうことを考えたので」と若手と意見交換できるような機会を、これと別につくってもいいと思います。
会 長	日進市はワークショップをやりだしてかなり経ちますね。
事 務 局	そうですね、十数年は経っています。
会 長	最初立ち上げるときに、市民同士でやってもらう、意図的に行政職員が入らないというのはわかります。ただ、10年以上経ったときに、全面的にはなく、部分的に実験として、行政職員が加わったときにどうなるかということにチャレンジしても悪くないと思います。
委 員	関わりたい職員の方はいると思うのですが、市にそういう機会がないと、市民と接するのは実は難しいものだと思います。
委 員	さっき言った行政改革、経営改革という部分につながるとは思いますが、行政職員・公務員のプロボノ感覚といいますか、仕事ではなくてまさにプロボノとして活動に参加するというのが、日進の行政組織として足りないところかと思います。先ほど行政連携、庁内体制の仕組みづくりの話がありましたが、そういう自治体経営のあり方がなかなか行き渡らない中で、たとえばこの総合計画の中に自覚的に入れて、10年後を目指して、職員がそういう場に出て行ける仕組みというのを課題に掲げてもいいのではと思います。
会 長	成功例ですが、そういうことをやっている自治体がありまして、住民が自治体職員をリスペクトするようになりました。これまで「あほなことやってるな」という目で見ていたのが、「しっかりしている」「そういう事情があるのか」という

発 言 者	内 容
	ことが住民にわかって、住民の行政に対する理解が進むケースもあります。ただ、そうでないケースもありますけどね。それも含めてどの程度可能なのか考えてもらえればと思います。行政の事情がある程度わかる住民ができるチャンスでもありますから。
委 員	難しく考えずに、職員として楽しく考える機会になるといいと思います。
事 務 局	ちなみにこの自治基本条例の策定は、条例ということで市民には難しい専門的な部分もあるので、仰るような形で、職員と市民との合同ワークショップで進めました。
会 長	他はいかがでしょうか。
	(意見なし)
会 長	では全体を通していかがでしょうか。
委 員	先ほどの指標の話ですが、分析というのは各課でも行うもので、また具体的に分析するときにはいろいろなクロスの仕方を検討されるのでしょうか。
市 民 協 働 課	またご意見をいただければそれを反映させていきたいと思っています。
委 員	<p>行政区や学区といったエリア、そして年齢、そういった属性ときちんとクロスをするような形で集計すると、より有意差が出るかもしれません。日進市の場合は全体で見るとそこそこ数字が出るかもしれませんが、学区ごと行政区ごとによって細分化されていると思いますので、それを見た上での検討ができるといいと思います。大きく日進という検討をするよりは、もう少し細かく見たほうがいいと思います。</p> <p>それからもう一点、先ほど総合計画のところで行政職員がどんなふうに関わるのかといった点ですね。行政職員は、確かに県の仕事、国の仕事というふうに線引きをできる力を持っておられると先ほど言われました。できればお願いといいますか、だからこそ、その線引きを越えるためにはどうするかということ、市町村の行政職員には考えてほしいです。単に「これは県の仕事、国の仕事、だから私たちはやらない」ではなく、やるためにはどうしたらいいのかという議論を市民と一緒に考えていく、若手の職員にもそういう機会になるのではと思います。</p>
会 長	国、県、市町村とあって、最後に市民と接する場所ですから、市町村で縦横がつながるように取り組んでいただきたいです。たとえば交通安全の問題でも、県が持つ県警の総合交通の仕事に、市町村も取り組んでやっていくというのは基礎的自治体として必要です。ただ、県の仕事ですから、県と連携してやっていきますということであって、市役所で警察の全部の仕事をするとはできません。ネットワークを組んで総合的にやっていくということですね。
会 長	それでは、当日資料2の説明をお願いします。
市 民 協 働 課	(当日資料2に沿って説明)
会 長	これは道の駅の基本計画に関するパブリックコメントということですが、質問等がありますか。

発 言 者	内 容
事 務 局	前回の委員会でパブリックコメントに対してどのような対応をしているかというご意見がありましたので、いま市民協働課から説明がありましたように、パブリックコメントの多かった道の駅をご紹介します。資料では131件、全体では374件ですが、そのうち7件について対応を行ったというものです。
委 員 員	私もこのパブリックコメントを書いた覚えがあるのですが、この53人の方は道の駅を進めたほうがいいということで出したのでしょうか。大半は反対ということで出したのでしょうか。大枠でいかがでしょうか。必ずしも賛成反対ということではないとは思いますが。
市 民 協 働 課	それについては把握していませんので、担当課への確認が必要になります。
会 長	傾向としてはいかがでしょう。
事 務 局	前向きではない傾向が多いと思われます。あとは基本計画に対する疑問や、賛成意見もございます。
委 員 員	これは市がこれから新しくやることですよね。あとスマートインターもよく聞きます。私が近所の人に聞くと「道の駅って日進に要るの?」と言われます。東郷町もつくるといって、反対の町長が当選しましたね。そういったことで、市長や町長が変わるとその事業の基本構想も変わってしまうのではないですか。これからやることはまだいいですが、これまでのことでも、ごみの回収の変更は私もすごく苦労しました。本当に自治基本条例にあるように市民の意見を十分に聞いてやれたのかなというのと、もう一つ、くるりんばすのことも近所で非常に苦情が多いです。すぐ近くのクリニックの前にバス停があったのですが、突然なくなってしまいました。私の住まいはプライムツリーの近くですが、以前は市役所と行き来していたので来れましたが、それができなくなりました。ぐるっと回って帰ってくるとなると、とてもくるりんばすなんて使えません。そういった声も聞いて、自治基本条例の関係で、特に職員の方はどういう対応をされたのかというのは疑問です。苦情が多く出ているにも関わらず、バスは前と全く違う走り方をしているという、こんなにいっぺんに変えてしまうことに疑問です。パブリックコメントも取られていましたが、実際に起こってからみなさん苦情を言います。変える前は「ふーん」という感じですが、実際変えるとすごく苦情が出ますので、変える場合はもっと市民の意見を聞くような改善をしていただきたいです。他にも評価の方法はあると思いますが、ぜひこの自治基本条例の精神で、くるりんばす再編後の点検・評価をしていただきたいです。
会 長	市民の声を聞く仕組みとしてはどんなものがありますか。
事 務 局	くるりんばすに関しましては、地域ごとに意見をお伺いしました。
会 長	説明会みたいなものですか。
事 務 局	はい。パブリックコメントも実施してまして、最終的には地域公共交通会議という附属機関に諮っています。
会 長	そのようなことを経ても、実際動き出してみると思いも寄らなかったことが起こることは多分にありますよね。そういうときに苦情を言うシステムはあるので

発 言 者	内 容
	しょうか。市長への手紙とか。
事 務 局	そういう意味では市長への提案箱がありますし、メールでの問い合わせもできます。
会 長	そういうものには答えは来ますか。
事 務 局	回答はしているはずです。
委 員	私の考えでは、そういったものには利用者がいるはずで、知らない間に変わってしまうというのはおかしいと思うのです。使っている人をもっと広げたいというのはわかりますが、いま使っている人が不便になって、その人たちが使えなくなってしまうというのはどうなんだろうというのが大前提にあります。私もくるりんばすは意識していましたが、何も情報が入ってこないで、その辺をきちんとやってこれたかは検証していただきたいと思います。
会 長	市民参加をやるときに、バスで言えば、実際にそれを利用している市民の方の声は聞いているのでしょうか。
事 務 局	それは実施していきまして、不便になった方もいれば便利になったという声も聞いています。
委 員	そこを検証してほしいですね。不便になった人と便利になった人では、不便になった人のほうが多くないですか、というのを。大きなものを変えていますから、そこは検証していかないといけないと思います。
会 長	担当課で地域公共交通会議などの市民参加を経て、プロセスとしてはそれで問題ないとして、だけどそれでも不満がある人がいたときにその声はどう答えるかということですかね。今回は比較多数でこういう方が多くいらっしゃいますから、停留所を移さしてもらいましたとか、路線をこうしましたという説明をしていくと。民主主義ですからね。民間企業ではクレマーを味方につけると言うことを言いますね。クレマーにきちんと説明すると、クレマーは納得してファンになると。きれいごとの話ですが、そういう側面も確かにあります。もっとクレマーになることもありえますが。そういう面もありますから適正手続を大切にして、それは自治基本条例の精神ですから丁寧にやっていただきたいですね。
委 員	いろいろな意見がありますが、全体の将来像が見えにくいです。議論しているところは、道の駅ができると交通量が増えて危険ではないかとか、環境が悪くなるのではないかとか個別のことで、やりたいことを中核にして「こういう構想があるよ」というのが見えないので、良さをPRできていません。くるりんばすについても、いまの不便さが財政に与える影響も含めて、これが悪いからこうしたいというところが見えないので、バスのことばかり議論が出てきてしまいます。それともう一つ、無作為抽出の世論調査をやって、どのくらい反対があつてそれを改善できたかどうか、何か指標が要るのではないかなと思います。
事 務 局	担当課では職員が全路線に乗って利用者の声を聞いているとのことですので、いろいろな面から検証はしていると思います。
委 員	くるりんばすで言えば乗っている人でいいと思いますが、道の駅では住民は本

発 言 者	内 容
	当にどういう意見なのかなと思っています。
事 務 局	くるりんばすについて言えば、新たに抽出アンケートも行っているはずです。
会 長	それは再編後もですか。
事 務 局	はい。アンケートと、利用者への調査も行っています。
委 員	財政面も含めて本当にプラスになるのだということがわかることが大切です。
会 長	高齢者などは関心度が高い問題ですね。
委 員	再編後に利用者数は激減しましたね。数字が出ています。そのことに対して担当課は、数年したら落ち着いてまた増えるだろうという見解を出しています。
事 務 局	過去にそういう傾向がありましたので、そのような見解を出しています。
委 員	変えたら減る、だけど何年か経てば戻る、という見立てを立てているわけですので、見直しというのはかなり先の話になるのかなと思います。道の駅もバスもですが、どういう方向で作っていくのが全体が繋がらない、特にどういうビジョンがあるのかはなかなか見えないところです。課題がありますね。
会 長	日進市は割りと丁寧に市民参加をやっている方の自治体ですが、それでもこういうことがあるわけですので、よりグレードアップを目指していただけないかと思います。100%満足というのはありえませんが、やはり比較多数の人がこういうことかなと納得して理解できることが、市役所との信頼関係に繋がると思っています。
委 員	個人的に言いますと、道の駅については、全体の構想の中の一つでしたら賛成ですが、ここだけをつつついてしまうのはどうかと思います。
会 長	それはいろいろな方がおられる中で、どれを選択するか、ということですね。それを選択した理由を説明して、事業を実施した後で、「予想以上に好評でたくさん入っています」とか「予想を大幅に下回っています」とか、当初の予想はこうでしたが現在はこうですというのをきちんと報告していくのが、市民参加の上では大切でしょうね。パブリックコメントも市役所が返事を出しているのですか。
事 務 局	1件1件返事をしています。
会 長	ありがとうございました。それでは以上で終わります。
	5 閉会